

## 予防接種について

2017年7月 WHO

### 要点

- 予防接種は、ワクチンで防ぐことのできる子宮頸がん、ジフテリア、B型肝炎、麻しん、流行性耳下腺炎、百日咳、肺炎、急性灰白髄炎(ポリオ)、ロタウイルスによる下痢、風しん、破傷風などの疾病を予防し、障害や死亡を防ぎます。
- 世界全体でのワクチンの接種率は86%で失速しており、昨年から大きな変化はありません。
- これまでに使われていなかった新しいタイプのワクチンの組み入れが増えてきています。
- 現在、予防接種は推定で毎年200万人から300万人の死亡を防いでいます。もし、世界の予防接種率が改善されれば、さらに150万人の死亡を防ぐことができます。
- 世界では、現在も推定で1,950万人の幼児が基本的なワクチンを接種できずにいます。

### 概要

予防接種は、推定で毎年200万人から300万人のジフテリア、破傷風、百日咳、麻しんによる死亡を防いでいます。しかし、もし、世界の予防接種率が改善されれば、さらに150万人の死亡を防ぐことができます。世界におけるワクチンの接種率(世界の子どものうち、推奨されるワクチンを接種した子どもの割合)は、この数年間で大きく失速しています。

2016年には、世界の約86%(1億1,650万人)の幼児がジフテリア-破傷風-百日咳(DTP3: 3種混合ワクチン)の予防接種3回を受け、重篤な病態、障害、死亡を起こし得る感染症から保護されました。2016年までに、DTP 3種混合ワクチンの接種率は130か国で少なくとも90%に到達しています。

### 2016年における世界の予防接種率

2016年における世界の予防接種率は、次のようにまとめられています。

#### ●ヘモフィリスインフルエンザ菌 b 型(Hib)

インフルエンザ菌 b 型(Hib)は、髄膜炎や肺炎を起こします。Hib ワクチンは2016年末までに191か国で導入されました。世界におけるHib ワクチンの3回接種率は推定で70%です。しかし、地域間で大きな差があります。WHOのアメリカ大陸地域では、接種率が推定で90%ですが、WHOの西太平洋地域ではたったの28%しかありません。(しかし)WHOの東南アジア地域では2015年の56%から2016年には80%に上昇しました。

## ●B型肝炎

B型肝炎は肝臓に障害を起こすウイルス感染症です。幼児に対するB型肝炎ワクチンは、2016年末までに186か国に全国規模で導入されました。世界におけるB型肝炎ワクチン3回の接種率は推定で84%とされ、西太平洋では92%です。また、101か国で、生後24時間以内にB型肝炎ワクチン1回が新生児に接種されており、その接種率は39%となっています。

## ●ヒト・パピローマウイルス(HPV)

ヒト・パピローマウイルスは生殖器系で最もよくみられるウイルス感染症です。子宮頸がんなどのがん種や生殖器疣贅を男女ともに引き起こします。ヒト・パピローマウイルスワクチンは、国の一部地域で導入されている4か国を含めて、2016年末までに74か国で導入されました。

## ●麻疹

麻疹は非常に感染力が強いウイルス性疾患で、通常、高熱と発疹が現われ、失明や脳炎を引き起こし、死に至らせることもあります。2016年末時点で、85%の子どもが2歳の誕生日までに最初の麻疹予防接種を受けました。164か国では定期予防接種に組み入れられ、64%の子どもが国の接種計画に従って2回目の接種を受けました。

## ●髄膜炎菌A型

髄膜炎菌A型は、重篤な脳の障害を起こし得る感染症で、しばしば死に至ります。2016年末月(ワクチン導入後6年)までに、髄膜炎が発生しているアフリカの国で2億6,000万人がWHOとPATH(Program for Appropriate Technology in Health; 保健分野における適切な技術を導入することを目的に設立された非政府組織)によって開発されたワクチン(MenAfriVac)の接種を受けました。ガーナとスーダン、2016年に定期予防接種スケジュールにMenAfriVacを組み入れた最初の2か国となりました。

## ●流行性耳下腺炎

流行性耳下腺炎は非常に感染力が強いウイルスで、有痛性の耳下腺腫脹、発熱、頭痛、筋肉痛を起こします。ウイルス性髄膜炎を起こすこともあります。流行性耳下腺炎のワクチンは、2016年末までに121か国に全国規模で導入されました。

## ●肺炎球菌

肺炎球菌性疾患は、肺炎、髄膜炎、発熱性菌血症のほか、中耳炎、副鼻腔炎、気管支炎を起こします。肺炎球菌ワクチンは、国の一部地域で導入されている3か国を含めて、2016年末までに134か国に導入され、世界全体で接種率が推定で42%となりました。

## ●ポリオ

ポリオは感染力の強いウイルス性疾患で、不可逆的な麻痺を起こすことがあります。2016年に

は、世界中で 85%の幼児が 3 回のポリオ予防接種を受けました。ポリオは世界全体での撲滅を目標としており、アフガニスタン、パキスタン、ナイジェリアの 3 か国を除くすべての国で発生が阻止されています。ポリオの清浄国でも輸入感染が起こりうるため、ポリオが完全に撲滅されるまでは、すべての国、特に紛争や政情不安がある国に、リスクが残されています。

#### ●ロタウイルス

ロタウイルスは、世界中で、最も多く子どもに重篤な下痢症を起こす原因疾患です。ロタウイルス・ワクチンは、国の一部地域で導入されている 6 か国を含めて 2016 年末までに 90 か国で導入されました。世界での接種率は推定で 23%となっています。

#### ●風しん

風しんはウイルス性疾患で、通常、子どもでは軽症です。しかし、妊娠初期に感染すると、胎児死亡や、脳、心臓、眼、耳が障害される先天性風しん症候群を起こすことがあります。風しんワクチンは、2016 年末までに 152 か国において全国規模で導入され、世界での接種率は推定で 47%となりました。

#### ●破傷風

破傷風は、不潔な傷口や清潔に保たれていない臍帯のような酸素に触れない状況下で増殖する細菌によって起こされます。破傷風菌の芽胞は地理的な位置に関係なく、(あらゆる)環境中に存在します。破傷風菌は重症の合併症を起こし、死へと導く毒素を産生します。2016 年末までに、母親と新生児の破傷風を予防するためのワクチンが 106 か国で導入されています。推定で 84%の新生児がワクチン接種によって予防されました。母親と新生児の破傷風は、主にアフリカ及びアジアの 18 か国では、依然として公衆衛生上の問題として残っています。

#### ●黄熱

黄熱はウイルスを保った蚊を介して感染する急性ウイルス性出血熱です。2016 年の時点で、黄熱に感染するリスクのあるアフリカ大陸及びアメリカ大陸の 42 の国と地域のうち 35 か国と地域において、黄熱ワクチンが幼児の定期接種に組み入れられました。これら 42 の国と地域における接種率は、推定で 45%となっています。

#### 課題に向けた要点

2016 年には、世界で推定 1,950 万の幼児が DPT 3 種混合ワクチンなどの定期予防接種を受けられませんでした。これらの子どもの 60%以上は、アンゴラ、ブラジル、コンゴ民主共和国、エチオピア、インド、インドネシア、イラク、ナイジェリア、パキスタン、南アフリカ共和国の 10 か国に住んでいます。

地方レベルでデータを管理することは、予防接種のギャップに取り組み、いのちを救うことのできるワクチンをすべての人に届けるために、それぞれの国が、優先順位を付け、ワクチン接種戦略と運用計画を作ることに役立てる上で重要です。

#### WHO の取り組み

WHO は、2012 年 5 月の世界保健総会で採択されたこれらの率先すべき取り組み（イニシアチヴ）を含め、世界全体のワクチンの接種率を改善するために国や関係機関と連携して活動しています。

#### 世界ワクチン接種行動計画

世界ワクチン接種行動計画（The Global Vaccine Action Plan: GVAP）は、2020 年までに、ワクチンの接種環境をより公正なものに整備し、何百万もの人々を感染による死から護るためのロードマップ（工程表）です。各国は、全国で 90%以上、すべての地域で 80%以上のワクチン接種率を達成することを目標としています。これまでのところ、GVAP に向けた進捗状況は、計画予定から外れています。

2017 年 5 月、194 か国の保健大臣が、GVAP の目標を達成するために、予防接種の強化に関する新たな決議を採択しました。この決議案は、各国の予防接種プログラムの管理能力と指導力を強化し、最新情報によるデータ・ガイド・ポリシーとプログラムの決定が確実に実行能力と影響力を最適化するような監視と調査システムを向上させることを各国に要請しています。また、幼児期を超えた（年齢での）予防接種サービスを拡大し、国内の資金を動入し、GVAP 目標を達成するための国際協力を強化するように各国に要請しています。

（GVAP は）WHO 事務局に対して、地域および世界での予防接種の目標を達成するために各国を引き続き支援するように要請しています。ワクチンの価値への理解と GVAP の目標達成への緊急性を高めるために、啓発活動を拡大させることを勧めています。WHO 事務局は、GVAP の最終目標と目的に対する成果を、2018 年、2020 年および 2022 年に保健総会に報告することになっています。

#### 世界予防接種週間

WHO と支援組織は、毎年 4 月の最終週を世界予防接種週間として記しています。世界予防接種週間は、すべての年齢の人々を病気から守るために、ワクチン使用の促進を目指しています。予防接種は何百万人ものいのちを救い、世界で最も成功した医療介入、対費用効果の高い医療介入の一つとして、広く認識されています。

2017年のキャンペーンのテーマ # VaccinesWork(ワクチンがもつ力)に置かれた大目標は、生涯を通じて十分に予防接種を受けることの特別な重要性と、継続可能な進展目標を達成する中での予防接種の役割に対して、意識を高めることです。

このキャンペーンの一環として、WHOと支援組織は、次のことに取り組んでいます。

- ・世界トップの健康・医療への投資の優先事項として、予防接種の重要性を強調すること
- ・GVAPを達成するために必要とされる行動のステップ(歩み)への理解を促進すること
- ・継続可能な進展と世界の健康への保障における予防接種の役割を示すこと

## 出典

WHO. Immunization coverage. Fact sheet N° 378. Update July 2017

<http://www.who.int/mediacentre/factsheets/fs378/en/>

このPDFファイルは、厚労省(FORTH)がWHOのファクトシート(英文)を翻訳したものです。

海外渡航を安全なものにするためにご利用下さい。

曲友(かねとも) 新道有限会社 特殊清掃事業部

<http://deo.2lala.net>